

令和 5 年 6 月 9 日現在

機関番号：11501

研究種目：基盤研究(C)（一般）

研究期間：2019～2022

課題番号：19K01197

研究課題名（和文）羽黒修験研究の宗教民俗学的再構築

研究課題名（英文）Religious-folkloric Reconstruction of Study on Ascetics in Mt.Haguro

研究代表者

岩鼻 通明 (iwahana, michiaki)

山形大学・農学部・名誉教授

研究者番号：20167282

交付決定額（研究期間全体）：（直接経費） 3,200,000円

研究成果の概要（和文）：出羽三山信仰について、民俗学・地理学・歴史学・考古学の研究者が共同して、以下の新たな視点を開くことを試みた。詳しくは、2023年3月に刊行した研究成果報告書を参照されたい。まもなく山形大学の機関リポジトリにアップされる予定。

近現代における羽黒山手向の宿坊の変化・手向の諸職についての聞き取り・羽黒山内および本道寺、月山胎内岩の石造物・近世の湯殿山信仰・山形県置賜地方の石造物と即身仏・福島県喜多方市に置ける近代の三山講・中世末から近世初期にかけての西日本における出羽三山信仰。

研究成果の学術的意義や社会的意義

コロナ禍もあって、当初に予定したフィールドワークが十分に実施できなかった部分もあったが、研究成果の概要に記した課題について、一定の成果をあげることができた。今後は代表者および分担者が、それぞれの課題について、論文や著書として成文化することによって、研究成果を社会に還元することを目標としたい。

研究成果の概要（英文）：the Dewa Sanzan, the three sacred peaks of Mount Gassan, Mount Yudono, and Mount Haguro in Yamagata Prefecture. The expansive Shonai region, which stretches from the Dewa summits to the Japan Sea,

Our team member is folklore, geography, archeology, japanese history. Our reseach paper is soon up on website:yamagata.repo.nii.ac.jp

研究分野：文化地理学・宗教民俗学

キーワード：出羽三山信仰 湯殿山信仰 即身仏 出羽三山講 出羽三山碑 羽黒修験 宿坊 旅日記

1. 研究開始当初の背景

出羽三山信仰に関する研究は、自らも羽黒修験であった故戸川安章によって、基礎が固められた。研究代表者の岩鼻は、文化地理学・民俗学的アプローチによって、出羽三山信仰の空間的広がりについて、調査研究を進めてきた。

しかし、出羽三山信仰そのものが、宿坊の減少や信者の高齢化などによって、参詣者数は漸減傾向にあるため、地域活性化の側面からも、総合的な学術調査の必要性が高まっている。

2. 研究の目的

その一方で、出羽三山信仰について取り組む後進の研究者は多いとはいえ、研究者の世代交代をうながす意味で、若手中堅の研究者による出羽三山信仰研究の活性化が必要とされる。

出羽三山信仰の広がる東日本各地には、かつての信仰の実態を伝える古文書史料が数多く所蔵されている。その分析には、日本近世史の専門家の手による調査検討が必要となる。

また、出羽三山信仰に関わる石造物や金石文もまた、各地に数多く分布しており、その分析には、考古学の専門家による調査検討が必要とされる。

さらに、出羽三山参詣の拠点となる宿坊に関する調査には、山岳信仰研究に実績のある研究者による現地調査が必要とされる。

これらを総合することによって、新たな視点を切り開くことが、研究の目的となる。

3. 研究の方法

代表者の岩鼻が行ってきた文化地理学・民俗学的方法論に加えて、地理学・日本史学。考古学の研究者による共同研究を実施し、現地における聞き取り・資料確認調査や、各地の図書館・資料館などでの文献資料調査を実施して、出羽三山信仰における様々な課題の解明に取り組んだ。

4. 研究成果

研究成果については、既に研究成果報告書(89頁)を2023年3月に印刷刊行し、国会図書館および山形県立図書館などの主要公共図書館や、研究者、調査協力者の方々に配布した。

以下に研究成果の概要を示したい。

・近現代における羽黒山手向の宿坊の変化

江戸時代には300坊が存在したとされる羽黒山麓の門前町である手向では、現在30軒弱の宿坊数となっている。高齢化などにともなう信者の減少や、少子高齢化にともない宿坊の後継者不足もあいまって、減少傾向が続いている。この課題を解決するには、近現代の手向をめぐる動向を把握することが課題解決の第一歩となる。

・手向の諸職についての聞き取り

宿坊以外にも門前町の手向には、多くの参詣者を支えた様々な職業が存在した。宗教施設の建物を補修する大工や屋根葺きに従事する多くの職人が存在した。現在は、このような手仕事の職人技の後継者が集まらず、維持管理が困難になりつつある。

・羽黒山内および本道寺、月山胎内岩の石造物

羽黒山内や本道寺の門前には、巨大な信仰に関わる多くの石造物が存在する。これらの石造物は詳しい分析がほとんどなされてこなかったが、今回は専門家の現地調査によって、その実相を詳しく検討することができた。月山山頂直下の胎内岩の石造物の詳細な現地調査は今後の課題である。

・近世の湯殿山信仰

南東北各地に残る湯殿山参詣に関わる古文書史料の検討によって、近世の湯殿山信仰の詳しい実態が明らかになった。

・山形県置賜地方の石造物と即身仏

山形県内陸南部の置賜地方に、庄内地方から注連寺、大日坊の行人が近世後期に布教に訪れていたことが、湯殿山碑の銘文から明らかになった。

・福島県喜多方市に置ける近代の三山講

昭和30年代の喜多方市中心部の講員名簿をもとに、現地での聞き取り調査によって、喜多方市の中心商店街の商人たちが本道寺の宿坊を拠点とした参詣講中を組織していたことが明らかになった。

・中世末から近世初期にかけての西日本における出羽三山信仰

大阪府堺市や和泉市、また広島県宮島に、中世末から近世初期にかけての出羽三山信仰の

痕跡が見出されることが明らかとなった。

最後に、近々、山形大学機関リポジトリにアップされる予定となっているので、詳しい研究成果については本報告書を参照されたい。

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計16件（うち査読付論文 1件 / うち国際共著 0件 / うちオープンアクセス 1件）

| | |
|--|---------------------|
| 1. 著者名 岩鼻通明 | 4. 巻 35 |
| 2. 論文標題 日本遺産から世界遺産へーその可能性を探る | 5. 発行年 2021年 |
| 3. 雑誌名 村山民俗 | 6. 最初と最後の頁 60-65 |
| 掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし | 査読の有無 無 |
| オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著 - |

| | |
|---------------------------------------|--------------------|
| 1. 著者名 岩鼻通明 | 4. 巻 37 |
| 2. 論文標題 女性の旅日記にみる女人禁制 | 5. 発行年 2021年 |
| 3. 雑誌名 米沢史学 | 6. 最初と最後の頁 1-10 |
| 掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし | 査読の有無 無 |
| オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である） | 国際共著 - |

| | |
|--|---------------------|
| 1. 著者名 岩鼻通明 | 4. 巻 35 |
| 2. 論文標題 「最上川の文化的景観」の保全について | 5. 発行年 2021年 |
| 3. 雑誌名 山形民俗 | 6. 最初と最後の頁 42-46 |
| 掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし | 査読の有無 無 |
| オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著 - |

| | |
|--|---------------------|
| 1. 著者名 吉野裕 | 4. 巻 67 |
| 2. 論文標題 近代期における「遠方の人々」による鳥海登山 | 5. 発行年 2021年 |
| 3. 雑誌名 山岳修験 | 6. 最初と最後の頁 67-82 |
| 掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし | 査読の有無 有 |
| オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著 - |

| | |
|--|-----------------------|
| 1. 著者名 吉野裕 | 4. 巻 16 |
| 2. 論文標題 本吉法印神楽の継承とその神謡に関する調査報告 | 5. 発行年 2022年 |
| 3. 雑誌名 國學院大學研究開発推進機構研究開発推進センター研究紀要 | 6. 最初と最後の頁 157-197 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし | 査読の有無 無 |
| オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著 - |

| | |
|---|---------------------|
| 1. 著者名 荒木志伸 | 4. 巻 30 |
| 2. 論文標題 東北地方の国庁・城柵政庁の建物配置 - 9世紀における後方部への志向 - | 5. 発行年 2021年 |
| 3. 雑誌名 古代学研究所紀要 | 6. 最初と最後の頁 23-33 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし | 査読の有無 無 |
| オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著 - |

| | |
|--|---------------------|
| 1. 著者名 岩鼻通明 | 4. 巻 34 |
| 2. 論文標題 戦時体制下の出羽三山信仰 | 5. 発行年 2020年 |
| 3. 雑誌名 村山民俗 | 6. 最初と最後の頁 53-55 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし | 査読の有無 無 |
| オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著 - |

| | |
|--|---------------------|
| 1. 著者名 岩鼻通明 | 4. 巻 34 |
| 2. 論文標題 「珎事聞書七」 翻刻と解題 | 5. 発行年 2020年 |
| 3. 雑誌名 山形民俗 | 6. 最初と最後の頁 89-96 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし | 査読の有無 無 |
| オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著 - |

| | |
|--|---------------------|
| 1. 著者名 荒木志伸 | 4. 巻 66 |
| 2. 論文標題 山寺の石像文化財 | 5. 発行年 2020年 |
| 3. 雑誌名 山岳修験 | 6. 最初と最後の頁 25-31 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし | 査読の有無 無 |
| オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著 - |

| | |
|--|-------------------|
| 1. 著者名 岩鼻通明 | 4. 巻 1 |
| 2. 論文標題 日本遺産から世界遺産へ - その可能性を探る | 5. 発行年 2021年 |
| 3. 雑誌名 LOCAI-i 庄内地域文化研究所ニュースレター | 6. 最初と最後の頁 5-6 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし | 査読の有無 無 |
| オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著 - |

| | |
|--|---------------------|
| 1. 著者名 吉野裕 | 4. 巻 1 |
| 2. 論文標題 鳥海山の文化財指定 | 5. 発行年 2021年 |
| 3. 雑誌名 LOCAI-i 庄内地域文化研究所ニュースレター | 6. 最初と最後の頁 10-12 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし | 査読の有無 無 |
| オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著 - |

| | |
|--|---------------------|
| 1. 著者名 原淳一郎 | 4. 巻 1 |
| 2. 論文標題 遺産認定をとおしてみる地域文化 | 5. 発行年 2021年 |
| 3. 雑誌名 LOCAI-i 庄内地域文化研究所ニュースレター | 6. 最初と最後の頁 27-28 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし | 査読の有無 無 |
| オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著 - |

| | |
|--|---------------------|
| 1. 著者名 原淳一郎 | 4. 巻 872 |
| 2. 論文標題 近世の伊勢参宮の意義 | 5. 発行年 2021年 |
| 3. 雑誌名 日本歴史 | 6. 最初と最後の頁 69-75 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし | 査読の有無 無 |
| オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著 - |

| | |
|--|-------------------|
| 1. 著者名 岩鼻 通明 | 4. 巻 32 |
| 2. 論文標題 山形県の文化遺産と地域資源 | 5. 発行年 2019年 |
| 3. 雑誌名 山形民俗 | 6. 最初と最後の頁 1-9 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし | 査読の有無 無 |
| オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著 - |

| | |
|--|---------------------|
| 1. 著者名 岩鼻 通明・小田 純市 | 4. 巻 33 |
| 2. 論文標題 「珎事聞書 六」翻刻と解題 | 5. 発行年 2020年 |
| 3. 雑誌名 山形民俗 | 6. 最初と最後の頁 51-68 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし | 査読の有無 無 |
| オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著 - |

| | |
|--|---------------------|
| 1. 著者名 岩鼻 通明 | 4. 巻 33 |
| 2. 論文標題 本道寺宿坊の檀那場分布の変遷について | 5. 発行年 2019年 |
| 3. 雑誌名 村山民俗 | 6. 最初と最後の頁 90-95 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし | 査読の有無 無 |
| オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著 - |

〔学会発表〕 計9件（うち招待講演 1件 / うち国際学会 0件）

| |
|---------------------------|
| 1. 発表者名 岩鼻通明 |
| 2. 発表標題 現代に生きる湯殿山即身仏信仰 |
| 3. 学会等名 日本宗教民俗学会（招待講演） |
| 4. 発表年 2021年 |

| |
|---------------------------------|
| 1. 発表者名 原淳一郎 |
| 2. 発表標題 東北地方の伊勢参宮と湯殿参詣の歴史的意義 |
| 3. 学会等名 日本宗教民俗学会 |
| 4. 発表年 2021年 |

| |
|------------------------------|
| 1. 発表者名 原淳一郎 |
| 2. 発表標題 旅と藩 米沢藩の交通制度と経済政策 |
| 3. 学会等名 交通史学会 |
| 4. 発表年 2021年 |

| |
|------------------------------------|
| 1. 発表者名 吉野裕 |
| 2. 発表標題 法印神楽の神謡とその変化－本吉法印神楽を事例に |
| 3. 学会等名 日本山岳修験学会 |
| 4. 発表年 2022年 |

| |
|------------------------------|
| 1. 発表者名 岩鼻通明 |
| 2. 発表標題 現代に生きる湯殿山即身仏信仰 |
| 3. 学会等名 日本民俗学会年次大会（オンライン） |
| 4. 発表年 2020年 |

| |
|-------------------------|
| 1. 発表者名 岩鼻通明 |
| 2. 発表標題 畠山弘氏の湯殿山即身仏論 |
| 3. 学会等名 山形県民俗研究協議会大会 |
| 4. 発表年 2020年 |

| |
|--|
| 1. 発表者名 岩鼻通明 |
| 2. 発表標題 現代に生きる湯殿山即身仏 - 信仰・観光・研究をつなぐ |
| 3. 学会等名 山形大学庄内地域文化研究所第2回シンポジウム |
| 4. 発表年 2021年 |

| |
|-----------------------------------|
| 1. 発表者名 吉野 裕 |
| 2. 発表標題 近代の東北地方太平洋沿岸地域におけるお山参り |
| 3. 学会等名 日本山岳修験学会大会 |
| 4. 発表年 2019年 |

| |
|-----------------------|
| 1. 発表者名 荒木 志伸 |
| 2. 発表標題 山寺の石造文化財 |
| 3. 学会等名 日本山岳修験学会大会 |
| 4. 発表年 2019年 |

〔図書〕 計3件

| | |
|----------------------|-----------------|
| 1. 著者名 原淳一郎 | 4. 発行年 2020年 |
| 2. 出版社 文学通信 | 5. 総ページ数 270 |
| 3. 書名 日本の歴史を解きほぐす | |

| | |
|-----------------|-----------------|
| 1. 著者名 原淳一郎 | 4. 発行年 2021年 |
| 2. 出版社 小さ子社 | 5. 総ページ数 282 |
| 3. 書名 近世の旅と藩 | |

| | |
|-----------------------|-----------------|
| 1. 著者名 岩鼻 通明 | 4. 発行年 2019年 |
| 2. 出版社 海青社 | 5. 総ページ数 221 |
| 3. 書名 絵図と映像にみる山岳信仰 | |

〔産業財産権〕

〔その他〕

即身仏
<https://www.nippon.com/ja/japan-topics/g02008/>
山形大学庄内地域文化研究所
<http://blog.goo.ne.jp/imichiaki/>

6. 研究組織

| | 氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号) | 所属研究機関・部局・職 (機関番号) | 備考 |
|-------|--|---|----|
| 研究分担者 | 荒木 志伸 (araki shinobu) (10326754) | 山形大学・学士課程基盤教育機構・准教授 (11501) | |
| 研究分担者 | 原 淳一郎 (hara junichirou) (10533226) | 山形県立米沢女子短期大学・その他部局等・教授 (41501) | |
| 研究分担者 | 吉野 裕 (yoshino yu) (20742092) | 帝京大学・文学部・准教授 (32643) | |

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計0件

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

| 共同研究相手国 | 相手方研究機関 |
|---------|---------|
|---------|---------|